

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

2020～21 年度年度

国際ロータリー会長 Holger Knaack

Rotary
東京麹町



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 28 例会 2021.4.12 (#2303) 会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 吉田君 会費係 飯嶋君

受付係 保科君 守屋君

司会者 加賀君 ソングリーダー 鈴木君

卓話「企業審査のポイント～基本と実践」

日本賢人会議所副理事 坪井 清氏

木寅会員紹介

前回の報告

第 27 例会 2021.3.29 (#2302) 会場: 麗の間

例会ホスト・紹介係 守屋君 会費係 鈴木君

受付係 佐藤君 秋山君

司会者 齊藤君 ソングリーダー 藤田君

卓話「イニシエーションスピーチ」

住吉 美紀様(秋山会員紹介)

吉沢 京子様(河合会員紹介)

会長報告

- 1) 三カ月ぶりのリアルな例会です。皆様お変わりなくご出席ただけて嬉しいかぎりです。緊急事態宣言が解除されたとは言え、油断せず予防し、気を引き締めて参りましょう
- 2) 本来では、観覧会として夜間例会でしたが、親睦会は暫く我慢です。初の女性会員をお二人お迎えすることにはなりました。住吉美紀様(秋山会員紹介) 11/30日に卓話をお願いしたフリーアナウンサーです。吉沢京子様(河合会員紹介) 皆様にはテレビなどでおなじみです。
- 3) 12月に女の子のお生まれになった、藤田会員へクラブより御祝いをお贈りいたします。おめでとうございます。
- 4) 米山奨学生の鄭さんは今月で奨学期間は終わりますが、日立製作所へ就職するので、時間をみて例会にお顔を出してください。
- 4) 明後日 31 日には、福島南 RC の 50 周年記念日祝賀例会がございます。コロナ禍の為、縮小して行うそうです。私もオンラインで参列致します。今期は姉妹クラブ締結の更新なので、合意書を互いに交換いたします。

幹事報告

- 1) 御元気なお顔が拝見出来てなによりです。一日も早いワクチン摂取を願っています
- 2) 新入会員の会員名簿用のシールを配布致しました。お持ちの名簿にお張りください。
- 3) コロナで休会中でも、社会奉仕活動も続けておりました。一人親世帯の支援をしているしんぐるまぎーずふおーらむ(11/9に卓話)へ毎月の福島のお米を送っています。また、荒川社会奉仕委員長の仕事先からの賞味期限が短いお菓子などを、しんぐるまぎーずフォーラムと江戸川区の母子生活支援施設(嶋村GNを通じて)へ送りました。今後も送る予定です。又サドウアRCとの姉妹クラブ締結を進めています。インドネシア児童支援の鍵盤ハーモニカを千代田区内の小中学校からご寄付頂く依頼をしました。こういった活動はお会費やニコニコボックスのご寄付からまかなわれています。ロータリアンとしての活動は続いていますので、今後も宜しく御協力下さい。
- 4) 来週は、地区大会への振替で休会ですので、次回例会は 4 月 12 日です。

例会記録

会員総数	42名	出席会員数	28名
ゲスト	0名	その他	1名
ビジター	0名	事務局	2名
海外ビジター	0名	出席率	75.58%

ニコニコボックス

木元会員: お久しぶりです
金田会員: 例会再開を祝して
若林会員: 地区内 70 クラブの会長エレクトとお一人づつでのお話し合いを無事終了。当地区には様々なクラブがあり活発に活動されています。女性会員歓迎します。
須藤・濱田会員: 住吉様吉沢様の入会おめでとう
齊藤・守屋会員: 祝、例会再開
崎山会員: 皆様と久しぶりに会えて嬉しいです
配偶者誕生日: 細谷会員(1/3) 鄭会員(1/22) 地引会員(1/26) 福田会員(2/1) 藤谷会員(2/25) 金田会員(3/21)
結婚記念日: 内田会員(1/14) 地引会員(1/16)
若林会員(2/4) 久保田会員(2/15) 福田会員(2/22)
鈴木会員(2/27) 荒川会員(3/4) 木寅会員(3/25)
中谷会員(3/26)
誕生日祝い: 地引会員(1/2) 加賀会員(1/16)
乳井会員(1/18) 福田会員(1/31) 須藤会員(2/1)
齊藤会員(2/27)

次回予告

第29回例会 2021.4.19 (#2304)

会場: 舞の間
例会ホスト・紹介係 藤田君
受付係 荒川君 中村君
会費係 内田君
司会者 加賀君
ソングリーダー 鈴木君

卓話「拡大する災害による情報喪失を防ぐ技術」

石渡 弘行氏
紹介者 木寅会員

アートのか、なぜアートなのか

学校法人武蔵野美術大学理事長 白賀 洋平氏(12/7 卓話 乳井会員紹介)



アート(美術)には三つの力(機能)があります。まず、教養としての力です。アートは国境を越えた最強のコミュニケーションといわれ、グローバル時代を勝ち抜くためにはアートの知識を身に付けておく必要があります。それから、情操を育む力です。世界恐慌のとき、アメリカはニューディール政策の一環として美術によって国を興すことを考え、1万人の美術家を雇用してアート制作に当たったそうです。その結果、美術家が維持・育成され、市民が芸術に触れることで豊かな経験をしたといわれています。最後に、イノベーティブな発想で新たな領域を切り開く力です。アートには正解がなく、慣例や既成概念にこだわることなくこれまでと異なった価値を創造する力があります。それで、アート思考がビジネス界を中心に求められているのです。

企業が意思決定をする場合(ビジネス思考)、論理や理性が決め手になります。ただし、論理的アプローチを極めた先の真理は一つしかなく、差別化はできません。また、いくら理性的に考えても結論が出ない問題も存在します。これに対し、直感や感性によるアート思考は、ユニークでオンリーワンの結論を引き出すことができます。ですから、理性的に考えても結論が出ないような問題は、論理や理性による検討に見切りをつけて、アート思考によるアプローチで打開を図り、新しい道を開かなければなりません。

ビジネス界では、未来を切り開く活路の一つをアートに求める傾向が見られ、大学もそれに応じた改革に取り組む動きが盛んになっています。特に海外では企業の多くのエリートが芸術大学で学んでおり、自分の付加価値を上げるため、直感的スキル、感覚的スキルの習得を目指しています。

経営学修士(MBA)が世界的ステータスであることは周知の事実ですが、近年は芸術学修士(MFA)の価値がMBAの価値を逆転しつつあります。こうした社会変化を受け、世界の有力大学では芸術系学部が新設され、美大では企業との連携プロジェクトが実施されています。日本でも同様の動きがあり、ムサビでも昨年4月、クリエイティブイノベーション学科やクリエイティブリーダーシップコースを創設しました。アート・ビジネス・テクノロジーの各領域を総合し、新たなコンセプトで人材を育て、社会の諸問題に対してイノベーティブな解決策や新しい価値を創造しているとしています。

このようにアートが期待される背景には、現代が VUCA (変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代といわれていることがあります。その中でわれわれは自分なりに答えを出し、常に意思決定していかなければなりません。その際に重要なのは、どんなアプローチをするかです。かつては、STEM教育(科学・技術・工学・数学の教育)が重視されていましたが、今は固定観念を打破して柔軟な考えを生むことが期待され、芸術を加えた STEAM 教育が重視されるようになりました。

日本でも文部科学省、経済産業省、経団連が力を入れ始めています。今年7月に政府が出した成長戦略実行計画の一つとして、美大を拠点に産官学が協働し、アートやデザインの持つ創造的発想をビジネスにつなぐ教育プログラムの開発が掲げられ、中長期にわたって社会人を支援する方針を打ち出しました。かつて日本は「ものづくり日本」と呼ばれ、世界を席巻していましたが、今は低迷しています。再び力をつけるためには、創造性豊かな人材の育成が不可欠です。アートはその力をもって期待に応えなければならないと思っています。

新型コロナウイルスの収束はいまだ見えませんが、東京には多くの美術館がありますので、感染防止にご注意の上、お出掛けいただければと思います。行けない場合もオンラインギャラリーなどもありますので、ぜひご覧いただいて、アートに親しみ、アートの力を感じていただければと思います。



初の女性会員、吉沢京子会員と住吉美紀会員

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	須藤 仁	FAX:03-3263-9122
幹事	齊藤栄太郎	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	飯嶋 一晃	URL: www.koujimachi-rc.jp